

昭和興産(上海)貿易有限公司

上海市仙霞路319号遠東国際廣場A棟2605室

電話86-21-6235-1028 F A X 86-21-6235-1020



赤羽総経理

昭和興産の中国現地法人、昭和興産(上海)貿易有限公司は、中国内需の取り込みに力を注ぐ。同社は化学品、添加剤、樹脂などの輸入国内販売をメインに、リン酸塩など無機化学品の輸出も手掛ける。2009年は1~3月が前年同期比40%ダウンとなったものの、4月以降は、電子材料、とくに携帯端末向け特殊機能材が業績を牽引。売り上げは、前年比30%増となり、「07~09年の中期経営計画の目標だった『最終年の黒字化』を達成することができた」(赤羽健生総経理)。

内需取り込みに力注ぐ

広州を候補に新拠点検討



昭和興産(上海)貿易有限公司は、03年末に昭和興産の100%子会社として本格的に営業を開始した。04年には日系化学品専門商社としていち早く危険化学品のライセンスを取得し、現在では売上げの30%を占める。他社に先駆けて同ビジネスに進出したことから豊富な経験・ノウハウを蓄積しており、今年開催される上海万博での対応に生かそうとしている。

現在、同社の業績のなかで内需が占める割合は7割ほど。09年は電子材料、とくに携帯端末向け特殊機能材の伸びが顕在化し、世界最大の販売台数を誇る同国携帯電話市場の成長の波に乗るかたちとなった。

さらにローカル商品の発掘およびローカル自動車部品メーカーへの開拓も順次進めている。

一方、中国発信の拠点間ビジネスにも注力。リン酸塩やアンチモンなど鉱物資源をライオン向けに輸出するほか、円高為替を逆手にとり日本への輸出を進める考えだ。

また、同社が内需拡大の商材として期待するのが自動車部品関係。樹脂や内装材、燃料ホース、トラクタ

ルームの内装材など日本からの輸入品を、日系自動車メーカーを中心に拡販していく。ユザーの大半は華南に集中しており、現在は香港拠点から対応しているが、営業力強化やサービス拡充を